

教育情報化学習指導案

対象学年	小学生(5~6 学年)	所要時間	1 時間(45 分)
教科の 目標及び内容	<p>総合 — 情報に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。</p> <p>社会 — 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p> <p>国語 — 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。</p>		
題材名	著作権と肖像権		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 著作物や肖像権がどんなものかを知る。 ● 著作権や肖像権のあるものを使う場合、所有者の許可を得てから使用しなければならないことが分かる。 		
情報モラルに 関する視点	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報化社会の倫理: 人の著作物には、著作権があることを知り、尊重する ● 法の理解と遵守: ルールやエチケットを守らない事例を知り、何が良くないのか考える 		

指導の流れ

※情報モラルに関する視点♥

所要時間	主な学習活動	指導・支援の流れやポイント	使用教材等
1 校 時 目	10 分	導入&映像クリップの視聴 → 今日の授業の内容の確認。 → 映像クリップの視聴後、話の流れを振り返る。 → Web ページ上の写真を利用した理由を考えてワークシートに記入する。	使用教材 広教 事例で学ぶ Net モラル C-03 著作権の利用 (わたしの Web ページ)
	10 分	CD をダビングして楽しむのと、Web ページに載せるのではどこがちがうだろう？  → CD をコピーして自分で楽しむことと、Web ページ上にコピーすることとの違いについて話し合う。♥ → 個人で楽しむだけか、他の人にも見せたりするかどうかで区別することを押さえる。♥ → 許可なく使ったりコピーしたりしたとき、著作物にはどんな不利益があるのかを話し合う。♥	
	15 分	著作権について知る。  → 著作権とはどういうことだろう？ ♥ ・著作権とは、自分が作ったものを他人の人に勝手に使われないように定められた権利であることを伝える。 ・著作物を使う場合には、許可を得てから使うことが大切なことを押さえる。	
	10 分	まとめ  → まとめの映像クリップを視聴し、以下のことを押さえる。♥ ・個人だけで使う時には、許可を得なくてもよい。 ・引用する時には、著者や出典等を明記する。 → 肖像権についても触れる。♥ ・有名人でなくても友達の写真を使用する場合は、本人の許可を得てから使用する。	